

投稿通じ書く意欲向上

実践校初年度のため、まず新聞に親しんでもらおうと、図書室と廊下にコーナーを設置。掲載記事や採用



図書室前の新聞コーナーに集まる児童
〓志布志市の志布志小学校

志布志小学校（志布志市）

された投稿も張り出す。各単元を新聞形式でまとめる4年社会科、学習アプリを使い見出しや本文を分けて書く学習をする特別支援学級など、全学年で教科の狙いを踏まえて新聞を活用している。

「若い目」「子どものうた」の投稿に力を入れ、書く意欲につながった。2年、坂口結香さんは「頑張って載りたい」と意気込む。NIE担当の2年1組担任、朝野優稀教諭（31）は「読解力や比較、参照の力をつけるのに効果的」と話す。今後は講師を招いたよむのび教室、新聞を使った児童同士の読み聞かせ、よむのびワークシート充実も図る予定だ。（福岡梓）

かごしま NIE実践校

視野広げるきっかけに

実践校となり4年目。生徒の視野を広げ、物事を多角的に見たり考えたりするきっかけづくりを目指す。



平成中学校（薩摩川内市）

全生徒76人が学年ごとに異なる授業内容で取り組む。本年度は、体験活動を紹介する壁新聞を作ったり、同じ話題を複数の新聞で比べたりした。分かりやすい伝え方や、情報発信者の意図を読み取ることを学んだという。2年川原柚希さんは「新聞は気になる話題以外も目に付くため、新しく知ることも多い」。1年橋口真心さんは「面白い表現があり、参考になった」と話す。

校内には、鹿児島の話題やスポーツのほか、政治や国際社会の記事も掲示。宮崎雅美教諭は「関心が低い記事にも触れる一歩にしてほしい」と語った。（田上恵）

学校内に掲示されている新聞記事を読む生徒たち＝薩摩川内市の平成中学校